

2022年度 事業者向け放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			定員に対して十分なスペースを確保しています。全員で活動する際は多目的室等を活用したり、屋内・屋外活動に分けるなど工夫しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	5			配置基準以上の職員を配置しています。突発的に配慮が必要な場合は、職員間で連携して対応しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5			エレベーターやスロープ、多目的トイレを設置しています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5			その都度話し合いをしながら業務の改善に努めています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			保護者の意向を反映できるように業務改善に努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			ホームページで公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			5	第三者による外部評価は受けていませんが、ミュージックケアなどの外部講師によるアドバイスを受けて業務に反映しています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1		コロナ感染予防対策のため、リモートでの研修の参加が主となりましたが、必要に応じて参加しています。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			面談を行い児童の様子やニーズの聞き取りを行ったうえでケース会議を開き、支援計画を作成しています。
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			昭光園で作成しているアセスメントシートの使用や、小学校低学年児にはつながるノートのアセスメントシートを使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			チーム全体で立案しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			新しく取り入れるもの、継続していくものなどチームで話し合い改善に繋げています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			個別課題や SST（ソーシャルスキルトレーニング）など個々の成長に合わせて定期的な見直しを行っています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計	5			作成しています。

		画を作成しているか				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			朝礼時に打ち合わせを行い、時差出勤の職員にも分かるようにしています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5			共有しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			記録を基に支援の振り返りをしています。
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5			行っています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5			送迎のトラブル発生時の対応について学級担任・保護者と話し合う場を設けることや、気になることがあれば連絡を取り合えるようにしています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		5		現在、医療的ケアが必要な子どもの利用はありません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		5		現在、低学年児の利用はありません。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5			担当者会に参加し、情報提供を行っています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5			リモートで研修に参加しています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			5	利用する時間を考えると交流する機会をもちづらいのが現状です。必要に応じて検討していきます。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		2	3	現在、協議会への参加はしていません。必要に応じて対応していきます。
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			お迎え時や連絡帳、モニタリング時などに状況を伝えあい情報共有しています。	

	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2		ペアレントトレーニングという形でお伝えはしていませんが、お迎えやモニタリング時などに『褒める』ことの大切さや視点などをお伝えしています。
保護者への説明責任等	㉑	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			契約時や面談時にお伝えしています。
	㉒	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			相談があった場合は対応を行い、必要に応じて学校や他事業所と連携を図っています。
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	3	今年度はコロナ感染予防対策で実施していません。
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	㉔	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			苦情受付窓口を設置しています。すまいる入口扉付近にも案内を掲示しています。苦情という形での申し入れはありませんでしたが、要望があった場合にはチーム全体で共有し対応しています。
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			月1回すまいる便りで行事予定や、2ヶ月に1回昭光園全体の広報誌を発行しています。すまいる入口付近に活動の写真や、号外で活動の様子など発信しています。
	㉖	個人情報に十分注意しているか	5			注意しています。
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			配慮しています。
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	3	今年度はコロナ感染予防対策で実施していません。
非常時等の対応	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5			保護者にはお知らせを配布するとともに、職員間でも周知に努めました。
	㉚	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			昭光園全体で定期的に避難訓練を行っています。児童のみの訓練も定期的に行っています。
	㉛	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			職員全員に研修の機会を設け、日々の連絡報告等の連携を重視しています。
	㉜	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			身体拘束についての事業所としての考えを契約時に保護者に伝えてあります。現在、やむを得ず身体拘束が必要な状況はないため、個別支援計画への記載はしていません。必要な場合には不適切な身体拘束を防止するためのマニュアルに添って保護者と確認

					の上記載していきます。
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5			食物アレルギー調査票を保護者に記入していただき、食物アレルギーの有無について確認し、必要に応じて対応しています。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			共有しています。

職員 4 名 ・ 児発営 1 名